

SSKA

全国パーキンソン病友の会会報

茨城県支部だより

一九七一年八月七日第三種郵便物許可（毎月六回一の日・六の日発行）
一九九七年一月三〇日発行・SSKA増刊通巻二九三二号

第 4 3 号
平 成 9 年
1 1 月 3 0 日

目

次

* 支部長挨拶	二
* 私の生き方	三〇四
* 患者・家族交流会に参加して	五〇七
* 渡辺先生のプロフィール	七
* カラオケ曲名&歌唱者	八
* 訃報	八
* 患者に対する介護の仕方	九〇二
* パーキンソン体操のねらい	一一二
* パーキンソン体操	一三〇一九
* 新会員の紹介	一一〇
* 会員の住所変更	一一〇
* 事務局だより	一一〇
* 編集後記	一一〇

全国パーキンソン病友の会茨城県支部
〒三二五茨城県石岡市若松一七五
旧&fax 〇二九九（二二）五五八〇
郵便振替 〇〇三〇〇一四一三八〇四二

患者・家族交流会のご挨拶

茨城県支部長 清水昇勝

ただ今、ご紹介頂きました清水です。今日は、ここ大子町「福寿荘」に於いて、第12回患者・家族交流会に参加の皆さんお疲れさまでした。

この後リハビリ体操の指導して頂く事になっております、渡辺先生をご紹介致します。先生は一昨年の全国大会の時も大変お世話になりました、又、運営資金として多額の寄付金を頂きました。誠にありがとうございます。

厚生省の、公衆衛生審議会成人病対策部会は9月8日、難病医療費の全額公費負担制度を見直し、大幅な負担などを求める難病対策専門委員会の報告書を正式に了承した。この事について、10月1日に衆・参議員厚生委員との懇談会が衆議員第2会館で

JPCと全難連の共同で午前11時より行われました。いま国会議員に私たちの厳しい実情を訴える事によって、情勢が変わっていくことも予想されます。これに私も参加しました。この模様をNHKの夜のニュースで放映されました。

再来年の10月に開催されますアジア・太平洋パーキンソン病協会総会の準備も本部で進められています。詳しくは追って皆さんにお知らせされると思います。

JPCの署名・募金を今年もお願いしましたが、一人一人が国会請願に参加する行動の一つです。ご理解下さいまして、大変でも、宜しくお願い致します。

今夜の懇親会の最後にお楽しみ抽選会をご期待下さい。



私の生き方

守谷町 益田 功

私がパーキンソン病と診断されたのは平成2年2月でした、発病を知ってから丁度8年目になります。(年齢67才・体重52kg)現在1日にメネシット6錠・ペルマックス6錠・ドプス6錠を服用しております。メネシットは今年の3月迄は1日7錠半服用していましたが、パーロデルをペルマックスに変更した際に現在の6錠に減量しました。薬の飲み方はその日の行動予定に合わせて、総量は変えず4回～5回に分けて服用しております。

1昨年、友の会に入会して初めて水戸の総会に出席した時、ゲストで講演された日赤病院のドクターが「ある種の薬は弱酸性の飲料で飲むと薬効が増す」お話をされました。そこで早速オレンジジュース・グレープフルーツジュース・レモンジュースで飲んでみましたが、確かに薬の吸収が良いようで持続時間も気のせいかわ延びたようです。私の場合はレモンが合っているようなので、レモンジュースで飲んでおります。

最近薬の効力が切れると(起床した時等) 痠み足が顕著になりましたが薬の効いている時の私は、一見これが本当にパーキンソンの患者なのかと思われるほど普通に身体が動きます。

毎週3日は自宅近くのスポーツジムでストレッチとウエイトトレーニングで汗を流し、週に1回理学療法とリハビリとマッサージで身体の手入れをし、週に5日は自宅の歌謡教室で演歌を教えています。

食べたい時に食べたいものを食べ、したい時に好きなことをする。毎日が充実して幸せです、自由にさせてくれる家族に感謝しています。

歌を歌う時は、腹式呼吸(ヨガや座禅も同じ)で発声しますので健康にもプラスになるのと、パーキンソン病の特徴として、小声になつたり、言葉がはっきりしなくなる傾向がありますが、これに対しても効果があるようです。何といっても大きな声で歌うのは気分がスッキリして気持ちの良いものです。

リハビリの方は開業している理学療法の先生が私の歌謡教室の生徒で、献身的にやって下さいますので、健康維持に計り知れない力になっています。

担当のドクターからは、メネシットの量を減らすように言われておりますが、これ以上減らすとピアノを弾く指が動かなくなりますので減らせません。価値観の違いかも知れませんが、私にとって音楽は命です。

ピアノが弾けなくなったり、歌が歌えなくなったりした人生なんて、生きている価値はありません、人間は生きて何が出来たかに価値があるのではないのでしょうか。

私は8年前にパーキンソン病の診断を受けた時、これからは一日一日を大切に充実して自分自身が納得の出来る毎日を送りたいと思いました。

細々と不自由な思いをしながら長生きするよりも、薬の副作用で寿命が何年が短くなってもよいから、生きている間は自分で納得のいく日々を送りたいと、ドクターにお話ししご理解をいただきました。

今度初めて友の会の交流会に出席し、先輩の患者さんや介護される御家族の皆さんのお話を聞き、カルチャーショックを受けました。また別のショックは、全部といってよい程の皆さんが、私の半分位の量の薬しか飲んでいらっしゃらないことでした、

不遜ととられるかも知れませんが、率直な感じとして副作用を恐れるあまり薬の量が少なすぎるのではないかと思いました。

体質にも個人差は在りますし、年齢とか生活環境とかにも違いはありますので、一概に申すのは誤りがあるかも知れませんが、私はそう感じました。私にも副作用は確かにありますが、そんなにキツイものではありませんし、何よりも思う通りに生きられた8年間に比へれば物の数ではありません。

私の生き方を「ヤケクソ」と思われる方や、「開き直り」と思われる方もいらっしゃると思います。しかしこれは私の人生です。これからも親友のパーキンソン氏と仲よくつきあいながら、一人でも多くの人に「歌う喜び」と「歌う楽しさ」を知ってもらうように歌謡教室で楽しみながら頑張るつもりです。



患者・家族交流会に参加しての感想

* 皆さんと共に話し合い励合い、1年に1回の待ちに待った。患者・家族交流会、今までになく楽しい一夜を過ごさせて戴きました。

役員の皆様、ありがとうございました。一人でも多くの患者さんが、参加出来るよう企画をお願いします。近くでよいと思います。毎年同じ場所ではなく時には変更してはどうでしょうか。

* 先日はお世話になりました。ありがとうございました。とても有意義な2日間でした。私のような者でも、少しでも皆さんのお役に立つ事できそうだとわかり、大変嬉しく、ありがたく思います。目の前で日々弱っていく母を見ながら、十分な看護もできず、迷うことばかりの毎日です。それでも私はその場を離れれば病気のことを気にせず過ごすことができます。毎日自らの病気に立ち向っていらっしゃる皆さんの明るさに、頭の下がる思いです。

一日も早く原因がつきとめられ、有効なる治療手段が開発されますように。安心して療養生活が送れるよう、法や施設が整備されますように。

清水様ご夫妻のご活躍には本当に感服いたします。どうぞお体を大切になさってますますご活躍下さい。

* 渡辺先生の呼吸法の実技指導は大変に良かった。身についた気がする。

個人の体験発表の時間が充分でなかった。ただし幾つか参考になった。歩ける中に身体を治しておけ。行ける内に旅行もしておけ等、個人的に親しくなった人の助言だが参考になった。

同じスケジュールで同じ旅館であるので不安なく行動できるメリットがあった。逆に云えば変りばえせぬという。

価格が安いので無理は云えぬが、宴会料理としてまずく、最低であった、もう少し費用をかけて良く出来ぬものかと思った。

* 初めて参加させていただきましたが、患者をかかえる家族の方とのお話しを聞くことが出来、大変感銘を受けました。

私達夫婦にはカルチャーショックでした。

* この度の患者・家族交流会には大変お世話になりました。今度の交流会は今までにない楽しい交流会になりました。

幸い天候にも恵まれ一人の落後者もなくほっと致しました。渡辺先生の実際に役立つ結構なわかり易いご講義と実技指導を頂き大変参考になりました。101号室での座談会は実際に経験なさっているお話なので一言一言が胸につまりました。

* 紅葉の時期はまだ早いでしたが、奥久慈の山々の風景を眺め心流れる思いでありがたい二日間でした。

参加された患者・家族の皆様の笑顔に接して心強い思いがいたしました。何人かの患者の方のお話をお聞きして、毎日のご苦勞の様を知り、お互いに頑張っ生きて行きましょうと励まし合いました。

宴会でのカラオケでは、普段は寡黙になりからな患者さんが大きな声でうたい笑顔を見せて下さり「病氣よ去れ」と祈らずにはおられませんでした。渡辺先生のご指導の中での満面の笑み、そして温かいメッセージとプレゼントに心から感謝いたしております。

* 福寿荘に対する事前打合せ並に当日の準備等清水支部長ご夫妻のご苦勞お骨折りに感謝いたします。

渡辺先生のリハビリ体操のご指導は患者の立場にたち無理をかけず、しかも効果のあるご指導で時間を忘れ、参加者全員が熱心に実施出来たことは本当によかったと思っております。

尚、渡辺先生には終始二日にわたり時間を有効に、いろいろと実状に即しご指導頂けたことは何よりの収穫と思ひます。

宴会のカラオケ希望曲の伴奏が不足気味にもかかわらず、時間を延長して盛り上がりを見せたことはこれまたよかったです。

私は水戸駅までバスに同乗しましたが一名の落伍者もなくみな喜んで帰られたことはこれまた有難いこととございました。

* 友の会の一泊旅行に参加して得るのが多かったと思ひます。私自身の生き方、隣近の人間関係、家族の悩み、不安、その他いろいろあったけれど、同じ境遇の皆様と一緒に話し合えた事は、私にとっ力強く感じ有意義でした。私より重症の方々もいましたが、明るく前向きに生活している姿を見て、これからは自分自身を大事にし病氣と共に頑張っ生きて行こうと思ひています。

最後に大変皆様には御迷惑をかけ申しわけなく思ひています。

* この度、支部長さんのおはかりで、入会、早々に誘ひ下さりまして、ありがとうございました。

参加して感じたことは皆様方の前向によくよせずに精一杯生きている姿に接して、これから始まる闘病生活に自分にもなんとか出来ると自信がつかました。とくに小佐畑の縁あって夫婦になったのだから、最後まで面倒みますと云った力強い言葉には同じ立場として、涙ぐんで聞いていました。これからも皆様方の強い生き方に励まされて頑張ります。宜しくお願ひ致します。

* 12回交流会に参加しまして、役員の方々の並々ならない努力、心くぼりに対して感謝いたしました。

昨年は（今でもそうですが）自分の兄弟にだけ真実を話しておりますが他には病気を隠している状態ですので、この会に参加して他人の目にさらされるが、何とも気の重くして不参加ということでしたが、いつまでもそうはいかないでしょうから、せめて同病の方々話を聞いて心を開きたい気から参加して、同室の方々の経験やら心境を話し合い、又、渡辺先生のストレッチ体操を指導して頂いて、かって自分が十年以上市の健康体操クラブで当時を振り返り懐かしい気持ちで楽しく過ごす事が出来ました。又先生のアイデアで宝捜しのような

ものまで、用意して頂きいて一時を病気を忘れて過ごすことが出来まして、ありがとうございました。ました。

今回参加して役員の方々の心暖る気くぼりを胸に秘めて、毎日の生活の糧として、日々努力糧進する積りです。本当にお世話になりました。

* 先ずは、渡辺先生に細かいご指導を頂きまして感謝いたします。

次に昨年と同様に患者も家族の皆さんも、前向きの姿勢で明るく生活しておられることを強く感じました。

私も皆様に負けない様に頑張っていきたいと思いました。会の企画や運営に当たって下さった方々に心から御礼申し上げます。

自彊術普及会指導員・渡辺富貴子先生のプロフィール (元新宿朝日カルチャーセンター所属・取手分室長)

- 1977, 8 訪欧：パリー他、西ドイツ国際教育研究所訪問
- 1980, 9 茨女教日中友好訪中団員、学校訪問
- 1984, 2 台湾で自彊術特別講習会、老人会員と交流
- 1984, 7 ベルギー、オランダ自彊術使節団員、老人ホームで療法
- 1985, 11 北京国際運動医学学術会議参加
- 1986, 9 オーストラリア、ブリラペーン運動医学世界会議参加
- 1988, 9 健康体操日中交流会参加、於北京体育学院

現在、ボランティア活動中（老人ホーム・身障者作業所・その他）



茨城県支部第12回患者・家族交流会



カラオケ曲名 & 歌唱者

於大子温泉「福寿荘」

敬称略

- | | | | | |
|---|----------------|-----|-----|-----|
| ① | 白い花の咲く頃 | 守谷町 | 益田 | 功 |
| ② | 昔の名前で出ています | 〃 | 〃 | 〃 |
| ③ | 霧の摩周湖 | 那珂町 | 寺門 | 正次 |
| ④ | 山 | 水戸市 | 大森 | 誠 |
| ⑤ | 赤いグラス | 玉里村 | 古渡 | 幸雄 |
| ⑥ | 月がとっても青いから | 〃 | 古渡 | 勝子 |
| ⑦ | 女の願い | 笠間市 | 西野源 | 四郎 |
| ⑧ | 友禅流し | 日立市 | 鈴木 | 輝美 |
| ⑨ | 釜山港へ帰れ | 取手市 | 渡辺 | 富貴子 |
| ⑩ | 女のみち | 日立市 | 君島 | 政雄 |
| ⑪ | 夫婦春秋 | 明野町 | 齊藤 | 幸雄 |
| ⑫ | 津軽海峡冬景色 | 那珂町 | 寺門 | 京子 |
| ⑬ | さざんかの宿 | 水戸市 | 大森 | 誠 |
| ⑭ | おはん | 桂村 | 今瀬 | さか江 |
| ⑮ | ぼけない小唄 (お座敷小唄) | 参加者 | 全 | 員 |
| ⑯ | お別れ公衆電話 | 石岡市 | 清水 | 晴美 |
| ⑰ | 函館の女 | 笠間市 | 綿引 | 義男 |

計報 平成9年4月1日～平成9年11月30日

敬称略

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 日立市・樋熊常雄(9, 6, 6) | 左記の8名の方々が死去致しました。 |
| 北茨城・川又うめの(9, 7, 21) | ご逝去を悼み、謹んで哀悼の意を表し |
| 水戸市・桑名律子(9, 7,) | ご冥福をお祈り致します。 |
| つくば・松本寅男(9, 8, 4) | |
| 桂村・今瀬信男(9, 8, 10) | |
| 藤代町・太田昭子(9, 8, 15) | |
| 水戸市・鴨志田あい子(9, 8, 18) | |
| 水戸市・伊藤英夫(9, 11, 7) | |

パーキンソン病患者に対する介護の仕方

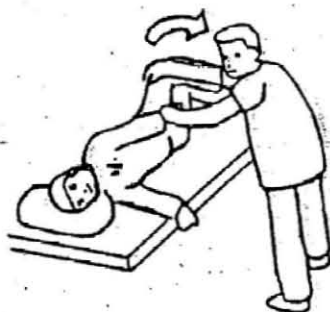
パーキンソン病の人を介助する家族の方へ

パーキンソン病は歩くことよりも寝返りを打ったり起き上がったたりすることがし辛くなる傾向があります。これはそういう方のために書かれたパンフレットです。担当の理学療法士の方から良く説明と指導を受け介助を行ってください。

・布団を使用する和式生活で過ごしている方は体を動かし辛いだけでなく立ち上がらせるのにも大変な労力が要ります。事情が許せばベッドを購入されることをお勧めします。以下に述べる介助の仕方はベッドに寝起きする方を前提にしたやり方です。

<寝返りの介助>

1. 図のように下側になる手を横に広げておきます。
2. 両膝を立てせます。
3. 上側になる手を持ち、立てた膝を横に倒すようにして横向きさせます。



<体位交換のやり方>

- ・寝たきりの人は昼夜を問わず体の向きを変えてやらないと床ずれができてしまいます。
- ・2～3時間おきに体の向きを変えるようにし、時々床ずれができかかっていないかお尻や腰、踵の辺りを観察するように心掛けましょう。
- ・床ずれは特にお尻の部分にできやすいのでドーナツ状の円座かフローテーションパッドを下に敷くと良いでしょう。介助の方法は

1. 図のように首から太ももに掛かるくらいのバスタオルを用意し、体の下に敷きます。
2. 枕を2つ用意し、図のように片側のバスタオルを持ち上げ枕を胸と腰の下に敷きます。
3. 足首の下にビーズマットなどを敷き踵に圧迫が加わらないようにしましょう。
4. 膝の内側どうしが当たらないように股の間にクッションなどを挟みましょう。



この方法で右向き→仰向け→左向きと順番を決めて体位を変えるようにします。

<起き上がりの介助>

1. 寝返りの要領で横向きにさせます。
2. 腰を持ち手前にひいてお尻をずらします。
3. 膝から下をベッドの下に降ろします。
4. 図のように片方の手で腰を上から押さえ、もう一方の手で首と肩を引き起こし腰掛けさせます。



*体を急に起こすとめまいを感じる人がいます。それは血圧が急に下がったため生じた現象です。そのときはまた元のように寝かせてあげましょう。

*力に自信がなく体を起こすのに困難を感じる人は背上げ式ベッドか電動ベッドをお勧めします。

*ベッドに腰掛けた姿勢から寝かせるときは図のようにお尻を支点にして背中と足を抱え体を回すようにして寝かせます。



<立上がりと車椅子への乗り移りの介助>

1. 腰に手を回し少しずつお尻を前へずらし浅く腰掛けさせます。
 2. 両足を少し手前にひき、体を前へ倒すように働き掛け、前から両脇を抱え立たせます。
 3. 足で体重を支持できる人は介助者が“いち、に、いち、に”と声を掛けながら左右へ体重の移動を促し体の向きを変えてやります。
 4. 腰掛けるときは体を前へかがめさせゆっくりと腰掛けます。
- *ベッドの高さは高めにセットしておくのと立たせるのが楽です。椅子などにもクッションを敷くと立ちやすくなります。
- *足で体重を支持できない人は介助ベルトなどを利用すると良いでしょう。

＜布団で寝起きする人への介助＞

さきほど介助を要するパーキンソン病の人にはベッドが適していると述べました。が、部屋に制約があってベッドを置けないうちもあります。そういう方も日中は車椅子に移ったりトイレにたつきなど体を起こすことがたびたびあります。布団に寝た姿勢から立ち上がるまでと寝かせ方の介助について説明します。

◆方法一その1（少し支えていれば立てる人へ）

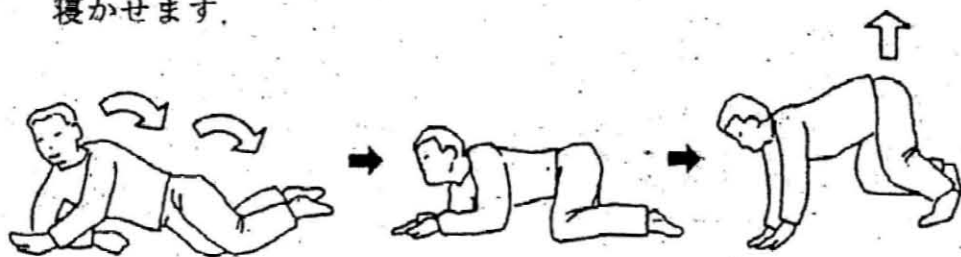
—うつつ伏せになり四つ這いを経て立つ方法です—

1. 寝返りの要領で体を横向きにさせます。
2. 片方の手で腰を上から押さえ、もう一方の手で首と肩を引き起こし片肘をつかせます。
3. 図のように下側になった脇と腰を引き起こすようにして両肘をついた姿勢を取らせます。
4. 肩を持ち上げ四つ這いをとらせます。
5. 足を踏み出しやすように後ろから片方ずつ腰を持ち上げ高這いをとらせます。

*四つ這いから台や車椅子に掴まって上体を起こしてから立つのも良い方法です。

6. 肩を介助して上体を起こします。

→寝かせる時はこれとは逆に両手を前につき四つ這いをとらせ寝かせます。



◆方法一その2

—後ろから抱え上げ一気に立つ方法です—

1. 寝返りの要領で体を横向きにさせます。
2. 後ろから片方の手で腰を上から押さえ、もう一方の手首を引き起こし片肘をつかせます。
3. 両脇から手を差し入れ手首を掴み正面をむかせます。



4. 両足をできるだけ曲げるように伝え、介助する人は足を前へ一步踏み出しておきます。
5. 足部を支点に一気に体を起こします。
→寝かせるときはこれとは逆にしゃがみ込ませるようにしてお尻を着かせ寝かせます。

パーキンソン体操のねらい

この体操のねらいは、日頃の運動不足を解消し、あまり使われなくなった筋肉を鍛え、少しでも動きやすい状態をつくることにより、生き生きとした日常生活を過ごしてもらうためのものです。この体操は次のようなことを考慮に入れて構成されています。

- (1) 動きの量そのものが少なく、動くスピードも遅くなったりするこの疾病特有の症状に対し、運動の量をまず確保する。
- (2) 筋肉がこわばる傾向があり、関節の動きが悪くなったり、筋肉が短縮したりするのを防ぐ。
- (3) 体の捻れを伴った動きが乏しくなり、歩けるにもかかわらず、方向転換や寝たり起きたりする動作が困難になりやすい。したがって全身的で体を中心とした姿勢の調節機能を高める運動を重視した。
- (4) 体や筋肉を曲げる側の筋肉（屈筋）より伸ばす方（伸筋）の活動が不十分なので、その点を配慮した。

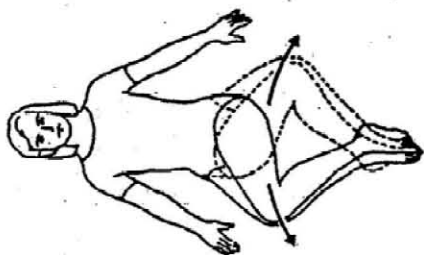
パーキンソン体操

仰向けになって行う体操

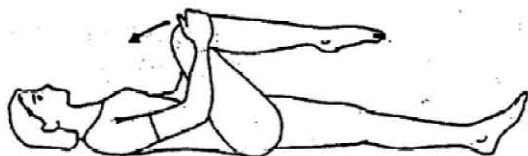


<腹式呼吸>

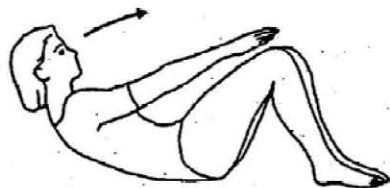
膝を立て、お腹に両手を当てる。
お腹に力を入れながら、深く息を
吸い、ゆっくりと吐く。(5回)



両膝を立て、そのまま膝を左右に
倒す。このとき膝が床につくよう
十分腰をひねる。(左右5回)



片方の足を曲げ、両手で膝を抱え
込むようにして深く曲げる。
(左右5回)

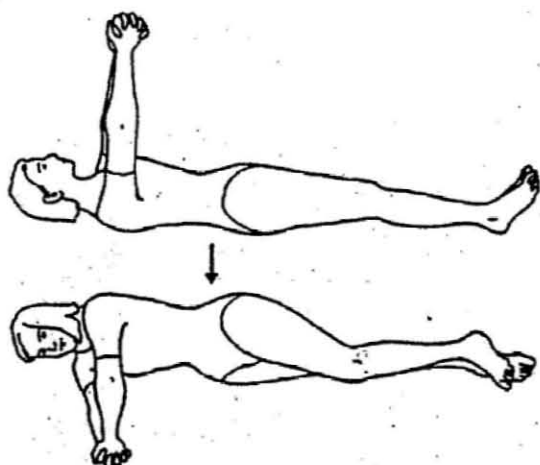


<腹筋運動>

両膝を立て、顎を引き、手を膝の
方へ伸ばすようにして行う。
(10回)



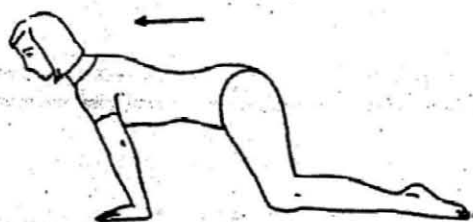
両膝を立てて、お尻を持ち上げる。
(10回)



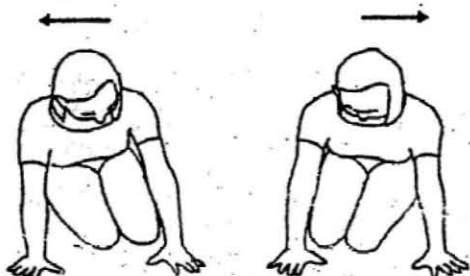
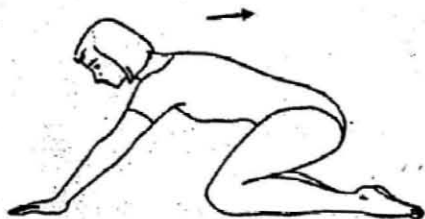
<寝返り運動>

両手を組んで腕を持ち上げ、なるべく足を伸ばしたまま寝返る。
(左右5回)

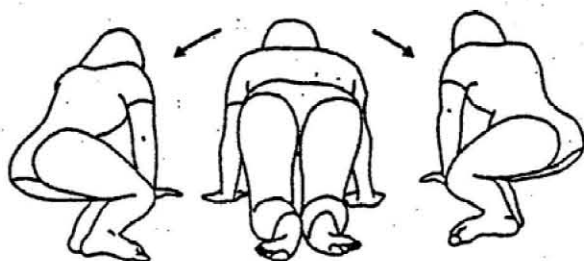
四つばい姿勢で行う体操



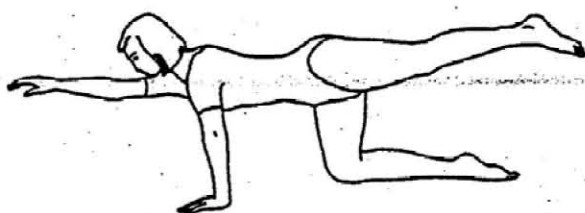
四つばいになり前後に体重を移す。(各5回)



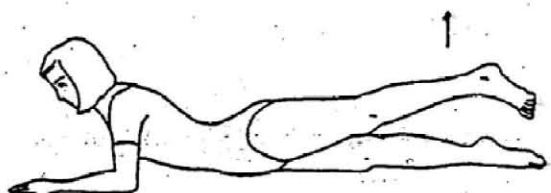
四つばいになり左右に体重を移す。上体だけでなく足にも体重をかけるように行う。(各5回)



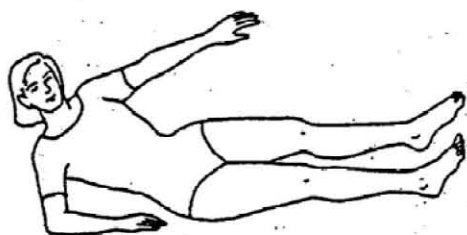
四つばいから左右にゆっくり
腰を落としてまた戻る。
(左右5回)



四つばいから反対側の手足を
持ち上げたまま5~10秒バラ
ンスをとる。手と足の両方を
持ち上げられない人は片方の
足だけを持ち上げる。
(交互に5回)



腹ばいになり、膝を伸ばしたまま
足を上に持ち上げる。(左右5回)



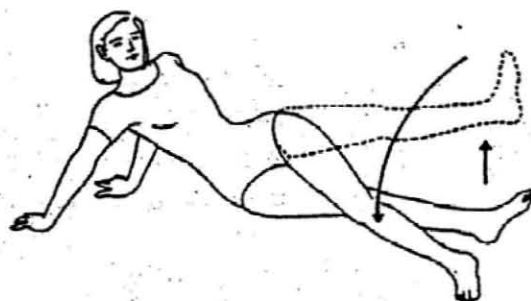
<起き上がり>
なるべく足を伸ばしたまま片方の
肘をついて起き上がる。
(左右5回)



<股を開く>
かかとを合わせたまま手で両膝を
横に開くようにして股を開く。
(10回)



<体を前に曲げる>
足を投げ出して座り、膝を伸ばしたまま体を前に倒す。(10回)

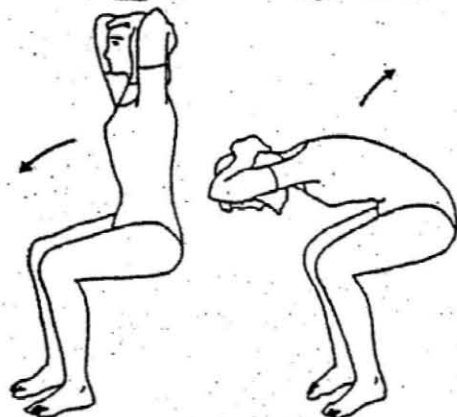


両手を後ろにつき足を前に投げ出して座る。片方の足を膝を伸ばしたまま上に持ち上げ、そのまま足を交差させるように反対側に倒す。(左右5回)

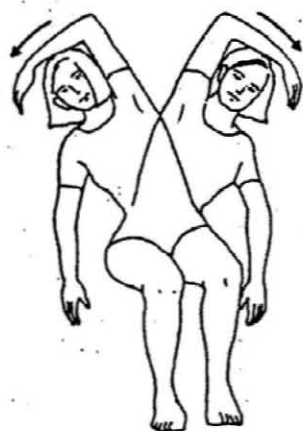
腰掛け姿勢で行う体操



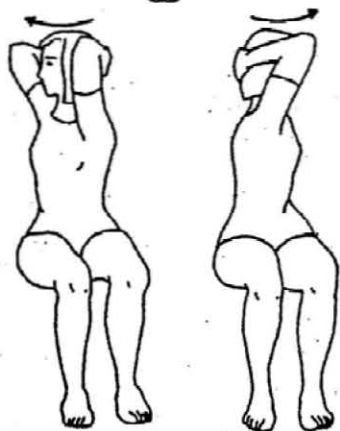
椅子に腰掛け両手を組み、背筋を伸ばして“万歳”をする。(5回)



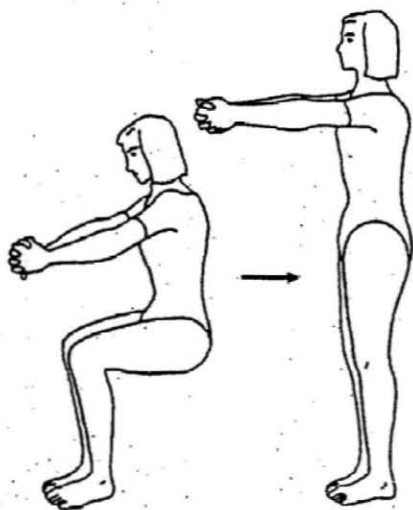
頭の後ろで両手を組み体を前に倒す。その後、胸を張るようにして体を起こす。(5回)



体を左右に倒す。(左右5回)

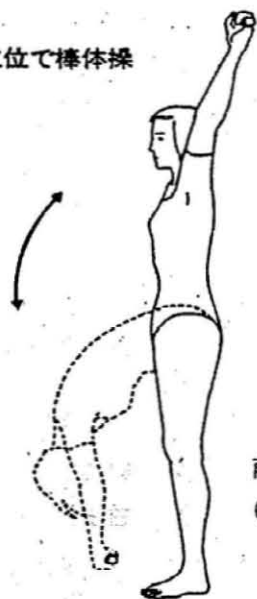


頭の後ろで両手を組み体を左右に
回旋させる。(左右5回)

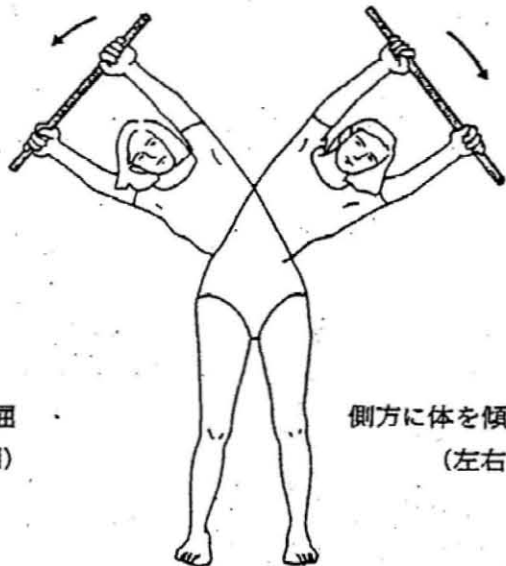


<椅子からの立ち上がり>
両手を組んで前に伸ばす。足を手
前にひいて体を前に倒し、お腹に
力を入れながら立ち上がる。
(5回)

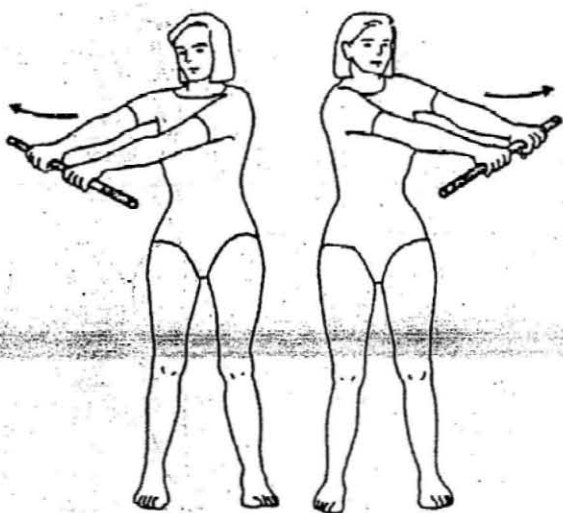
立位で棒体操



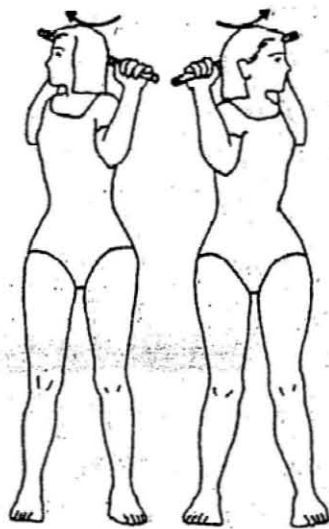
前・後屈
(各5回)



側方に体を傾ける。
(左右5回)



棒を前に伸ばして左右に回旋。
(5回)



棒を頭の後ろにもっていき
左右に回旋。(5回)

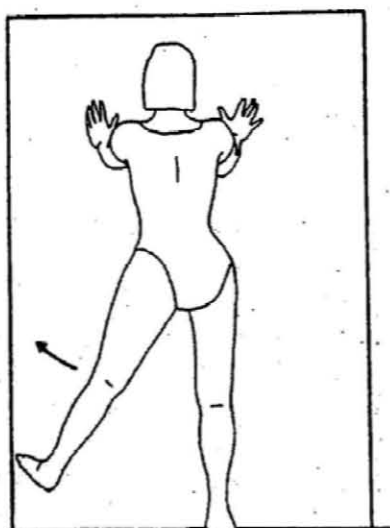


手を振り、足を高く上げて
足踏みをする。(30回)

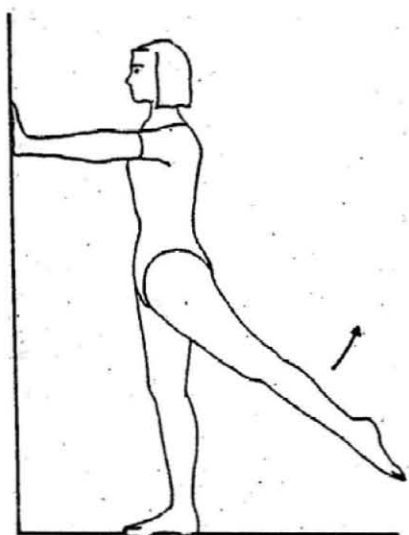
壁(椅子の背)を使って



アキレス腱を伸ばす。
(左右5回)

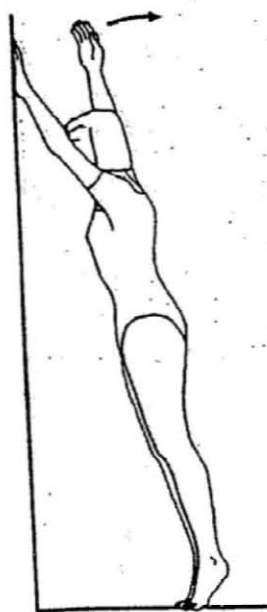


膝を伸ばしたまま足を横に
持ち上げる。(左右5回)



膝を伸ばしたまま足を後ろ
に持ち上げる。(左右5回)

かかとを上げてつま先立ち
となり、片方の手を上げバ
ランスをとる。(左右5回)



新会員の紹介

平成9年6月23日～現在迄
敬称略

齊藤 静江 〒300-45 真壁郡明野町
金本 明 〒319-01 東茨城郡美野里町
足立 トヨ子 〒318 高萩市

住所の変更

(新しい住所)

河瀬 房子 〒300-15 北相馬郡藤代町

【事務局だより】

- * 茨城県支部の第13回定期支部総会が平成10年4月12日(日)筑波大学の庄司進一先生を迎え水戸市の県総合福祉会館で開催の予定です。
- * 只今、「総合的難病対策の早期確立を要望する請願書」署名・募金活動の取組中です。
- * 会費の未納の方、宜しくお願い致します。

編集後記

弱者いじめの厚生省は特定疾患の患者負担導入をもくろみ、私たちのとりまく環境は厳しいものです。JPCの許さへん!!医療保障の後退全国患者・家族集会inおおさか、へ11月15/16日に参加してきました。

6月より建て替え中の我が家も漸く完成致しました。こちらの方にお見えの折りには、お寄り下さい。そんな訳で支部会報の発行が遅れました事をお許し下さい。 S

編集者

全国パーキンソン病友の会茨城県支部
〒315-0018 茨城県石岡市若松1-7-5

TEL&FAX; 0299-22-5580

郵便振替口座番号; 00300-4-38042

発行者

身体障害者団体定期刊行物協会

〒157・東京都世田谷区砧6-26-21

TEL; 03-3416-1689

頒価300円

一九七一年八月七日第三種郵便物許可(毎月六回一日・六の日発行)
一九七七年一月三〇日発行・SSKA増刊通巻二九三二号